

07月14日(土) 晴れ

鍋平園地 5:50—登山指導センター6:30—わさび平小屋 8:00—秩父沢出合 9:20—鏡池 12:30—鏡平小屋 13:00—弓折乗越 14:20—双六小屋 15:40  
三連休はなかなか行けなかった水晶岳に行くことになった。

久しぶりのテント山行。行程も長い。

新穂高温泉に着き、いつもの登山者駐車場に止めようとしたがいっぱいで鍋平園地の登山者駐車場に行けと言われてしまう。

しばらく来なかったが、様相が大分変わってしまったようである。

鍋平園地の登山者駐車場に着いたが、車はかなりいっぱいであった。まだ2時前なのにこんなに混んでいる。

朝支度をしていると数台先に大柴さんがいる。

大柴さんは川島さんと一緒に、西穂から奥穂に抜けるとのこと。

世間は狭いなあ...



5:50 出発。

もう少し早く起きて涼しい内に高度を稼がなくて良かったのだろうか？

いつもの出発点である登山指導センターまで30分の下り、帰りは登りたく無い。

しばらくは林道歩きが続き、笠新道、わさび平小屋となる。

笠新道入口には水がいっぱい出ている。ここまで水を減らして来たら楽だったのかなあ...

わさび平小屋を過ぎしばらく進むと橋のためとで登山道と林道が別れる。

今朝は荷揚げのヘリが頻繁に飛んでいる。小屋で生ビールが飲めるのもヘリのおかげである。

ここから本格的に登山道が始まる。

しかしただただ暑い。

天気が良過ぎのも考えものである。

早く沢に着いて涼みたい。



沢の音が大きくなってきて、秩父沢出合に到着。

日陰が無く暑い。

もう少ししたら樹林帯の中になる。

先に見える稜線まで登ると鏡平小屋かなあ...



水をこまめに飲む為に休憩が増えてしまう。  
暑さで脱水気味なのか、睡眠不足のせいなのか、軽い頭痛がする。  
まだ先が長いので、焦らずゆっくりと進む。  
12:30 鏡池に到着する。ずいぶんかかってしまった。  
槍ヶ岳が綺麗に見える。  
穂高側から雲が来ていて槍ヶ岳が隠れてしまいそうである。  
ベンチでゆっくりしてしまおうが、鏡平小屋に向かう。



鏡平小屋では名物の氷を皆さん食べている。  
氷、コーラ、何にするか迷ったが結局は冷たい水を 100 円で買ってクールダウンする。



クールダウンをしたせいか、稜線までの登りが少し楽になった。  
稜線まで登り切れば、あと 1h で双六小屋のテント場に着き、生ビールが待っている。



稜線の黒百合ベンチで黒百合を見ることが出来た。  
今回は花のシーズンに対して少し早いのか、花がいっぱいと言うわけではない。  
その中で黒百合が見れたのは非常に良かった。  
15:40 約 10H かけて双六小屋のテント場に着いた。  
かなりのテントの数である。  
小屋から一番離れた場合に平らな場合を見つけてテントを設営する。  
あとは小屋に行ってビールを飲むだけである。  
生ビール 1000 円、テント1人 1000 円。  
いつの間にかテント代が上がっていた。



#### 07月15日(日) 晴れ

双六小屋 5:20—三俣山荘 7:40/8:00—黒部源流 8:25—岩苔乗越 9:45—ワリモ北分岐 10:10—水晶小屋 10:55—水晶岳 11:40—水晶小屋 12:20/13:00—鷲羽岳 14:15—三俣山荘 15:20/15:35—双六山荘 18:10

4時起床。

周りは2時半くらいからバタバタしていた。

そんなに早く出発しなくともと思ってまた寝てしまったが、今日は水晶までの長丁場、暑さを考えたら早発ちはありだったのかもしれない。

朝食を済ませ、小屋のトイレの列に並んでトイレを済ませると5:20になってしまった。

まずは双六岳に向かってしばらく登りだが、巻き道で三俣まで行くので、そこからは登り下りが続く。



巻き道に進む人が殆どいない。

小屋では雪渓があるので中道を勧めている為だろうか？

昨日も多少の雪渓があったが、全く問題なかった。

巻き道を進むと何度か雪渓を渡って、最後に流れの音がする雪渓を渡るとそこからは登りが続く。

まだそれほど暑くなってきていない為、コースタイムで進んでいるが、出発が遅れた分は取り返せてはいない。

三俣蓮華岳の下まで来ると登山道が合流して、一気に下りとなり、三俣蓮華の小屋となる。



ここはテント場の中を歩く形で進んで行く。

小屋の手前で雲の平との分岐がありそこを下るのが、まずは小屋に行って岩苔ルートの状態を聞くことにする。

三俣山荘前には水が出ていて冷たい水を飲むことが出来た。



山小屋でルートを訪ねると全く問題が無いことがわかったので、予定通り黒部源流へと下る。

このルート、ほぼ沢の中で、沢とともに源流へと向かう感じである。

岩苔乗越へのルートは沢の手前からついていた。

黒部源流の標識もある。

ここからあの稜線まで登るのか...



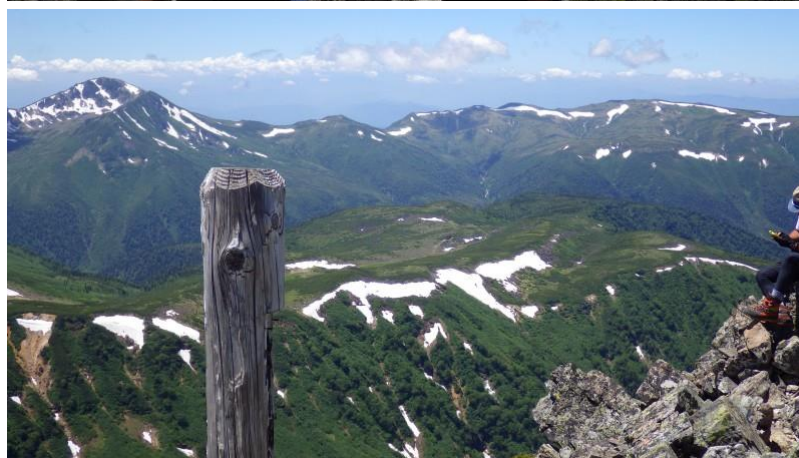
それほど無さそうに見えてなかなか近づいて来ない。  
今日は長丁場なのであまりペースを上げると最後までもたない。とは言え遮る木々が無いので今日も暑さ MAX である。  
かなりバテたが稜線に出る。



目的地はこの奥の水晶岳。あと 1.5h である。  
5 分の登り返しでワリモ北分岐に到着。  
ここから稜線を少しずつ登ると水晶小屋。皆さん一度は泊まって見たい小屋と言われている。



小屋の脇で少し休憩して、山頂へと向けて出発する。  
山頂まで45分。それほどあるように思えないくらいの所に山頂が見える。  
ハシゴと岩稜を登ると山頂に到着する。  
11:40 6Hかかってしまった。  
山頂はさほど広く無いが、今日は天気が最高で、槍ヶ岳、穂高、黒部湖、雲の平、全てが見えている。  
これで北アルプス最深部の一座登頂である。



コッヘルを背負ってきたが、時間が無いので山頂でのコーヒータイムは無しで水晶小屋に向けて下りだす。  
水晶小屋では、シュワットすっきりサイダーを買って涼む。300円。  
ここに泊まりならビールなのだが、双六小屋まで帰らないといけない。



40分でワリモ北分岐。

國保がどうしても鷲羽に行きたいと言うので、鷲羽岳経由で帰ることになった。

計画通りなのだが、時間がかかってしまったので、1h短い黒部源流に下るルートの方が良いが、まあ18時には帰れるので鷲羽に行こう。

鷲羽岳へはワリモ岳に一旦登り、少し下って登り返しとなる。

それほど遠くに見えないことが救いである。

14:15 鷲羽岳山頂に到着する。



ここからの槍ヶ岳も綺麗である。

鷲羽岳からは、三俣山荘がすぐそこに見えるのだが、1hは下らないと着かない。

鷲羽岳をあとに下りだす。

以前来た時は、雷鳥に会ったが、今日はどうだろうか。

しばらくは快適な下りであったが、急な下りとなり、行けども行けども三俣山荘が近づいて来ない。



やっとのことで山荘に到着する。

まずは小屋の前で水を飲み、あと2h歩けるだけの水を補給する。

ここで先程分岐であった女性と再開する。

「登って来たの?」「はい。でもこれから双六小屋まで帰らないと..」「私は今朝 TENT を双六から三俣まで上げたので三俣泊まりです。」そんな会話をし、しばらく小屋のベンチで休憩して双六へと向かいます。

三俣山荘から双六へは巻き道を行くのだが三俣蓮華岳の麓まで登らないといけない。

もう少し楽なルートだと良いのだが、許してはくれない。もう10h近く歩いている。

30分頑張ると三俣峠に到着する。

ここからは基本的に下りなのだが、何回か登り返しがあり疲れているので堪える。

雪渓を越え、何度か登り返しを越えて、軽く登った先に中道との分岐の標識が見える。

ここからは双六小屋に向かって一気に下れば到着となる。

もう18時に近い。

急がないと小屋でビールが飲めない。

18:10 双六小屋到着。

13h 行動となってしまった。

まずは生ビールを買って小屋の前のベンチで飲み始めるが、あっという間に日が傾き寒くなったきた。

ワインを買ってテントに戻る。

長い1日だった。



07月16日(月) 晴れ

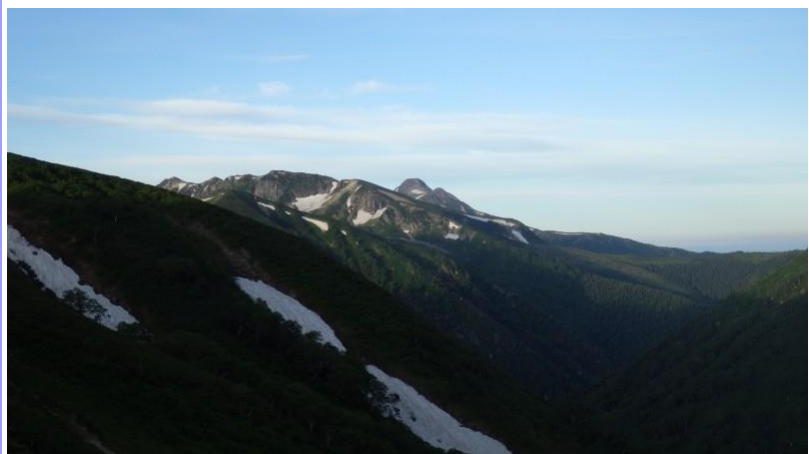
双六小屋 5:20ー弓折乗越 6:00/6:10ー鏡平小屋 6:55/7:10ーシシウドが原 7:45ー秩父沢出合 8:45ーわさび平小屋 9:35/9:50ー新穂高ロープウェー11:00ー登山者駐車場 11:50

4時起床。

今日も長い1日になりそうな予感がする。

昨日も暑い中を歩いたので、今日は下山だけだが涼しい内に弓折乗越まで行って、あとは下るだけとしたい。

連休最終日のせいか、テントが大分減っている。



5:10 出発。

しばらくは稜線を軽い登りが続く。

黒百合ベンチを過ぎ、雪渓を過ぎ、40分で弓折乗越に到着する。



ここから鏡平小屋への下りが始まる。

鏡平小屋はすぐそこに見える。

槍ヶ岳は今日も見えている。

まだ薄曇りで日差しは強くない。まだそれほど暑くも無い。

鏡平小屋に着くと朝から皆さんかき氷を食べている。

登りでは食べるか迷ったが、今朝は迷わずかき氷を注文する。

流石に名物。朝からでも美味しく食べられた。500円。



ここからは秩父沢まで涼をとる所が無い。ただただ暑い中を下るだけ。目の前が開けてシンドが原となり一本立てる。  
麓に小さく林道の橋が見える。  
あそこまで下るのか...



ここから秩父沢出合までは一時間。  
さて行くかと思うがとても暑い。早く沢に着いて涼まないといけない。  
約1h下ると沢の音がし出す、出合まで下ってしまうと日陰が無いので、手前の小沢で一本立てる。



次の休憩はわさび平小屋かなあ...  
出合まで下ると皆さん気持ち良さそうに休憩している。  
水を一杯だけ飲んで先に進む。  
早く橋に着きたい。  
橋に着き、この先水は1Lあれば十分なので余計な水1Lを捨てる。  
これで大分軽くなった。



20分でわさび平小屋。暑いのでコーラを買って飲む。  
ここまで来るとコーラは300円。林道を車で行けるのでこのくらいの価格なのだろう。  
この先はお助け風穴があったりして涼しい所があるが、流石に標高が下がったので暑さが勝っている。



暑い暑いと思いながら歩くと、新穂高ロープウェイ駅に着く。  
國保に「歩いて鍋平園地の駐車場に登らないよね」と聞いて、ロープウェイに乗って中間駅まで登ることにする。  
ロープウェイ400円 荷物券100円 今までならこのお金は出なかったのだが仕方がない。  
ロープウェイで中間駅まで運んでくれたのは良いが、結構登山者駐車場は遠い。  
12時少し前に駐車場到着。  
これからひとつ風呂浴びて、渋滞の中央道を帰らないといけない。



記録: 澤田